

■コメント

1. RSウイルス感染症

定点当たり0.78人の報告があり、例年同時期と比べて多くなっています。

RSウイルス感染症の症状は、軽いかぜのような症状から細気管支炎や肺炎などの重篤な症状までさまざまです。特に、生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、感染を避けるための注意が必要です。

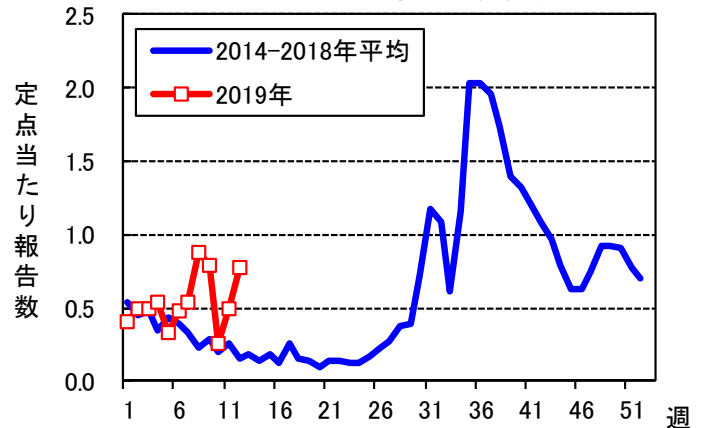
手洗いや咳エチケットの励行、おもちゃや手すりなどはこまめに消毒するなど感染予防対策を心がけましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり6.22人の報告がありました。ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生も1件報告されています。

手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

RSウイルス感染症の流行状況



【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	105	2.92	6.74	◇	小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.45	
	咽頭結膜熱	5	0.22	0.43		小児科	RSウイルス感染症	18	0.78	0.16	◇
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	2.09	2.42	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	143	6.22	7.73	◇	眼科	流行性角結膜炎	2	0.25	0.43	
	水痘	2	0.09	0.43		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	1	0.04	0.18		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	7	0.30	0.13		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	突発性発しん	11	0.48	0.22		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.04		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	1.60	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	41	女性(80歳代)、女性(90歳代)
4	A型肝炎	1	4	女性(80歳代)・市外
4	レジオネラ症	1	4	男性(60歳代)
5	アメーバ赤痢	1	1	男性(30歳代)
5	急性脳炎	1	7	女性(10歳未満)
5	後天性免疫不全症候群	1	2	男性(20歳代)・感染者
5	梅毒	2	17	女性(30歳代)、男性(50歳代)
5	風しん	1	7	男性(20歳代)・推定感染地域: 国外

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レン サ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタウ イルス)
報告数	広島市	第8週	419	10	72	138	3	1	8	4	-	2	21	-	4	1	1	-	-	2
		第9週	241	5	79	183	9	-	16	4	1	9	19	-	2	-	-	1	-	1
		第10週	212	2	64	219	4	-	7	7	-	2	6	-	3	-	-	-	-	2
		第11週	123	1	57	145	6	-	8	6	-	3	12	-	9	-	-	-	-	2
		第12週	105	5	48	143	2	1	7	11	-	4	18	-	2	-	-	-	-	1
定点当 たり	広島市	第8週	11.32	0.42	3.00	5.75	0.13	0.04	0.33	0.17	-	0.08	0.88	-	0.50	0.14	0.14	-	-	0.29
		第9週	6.51	0.21	3.29	7.63	0.38	-	0.67	0.17	0.04	0.38	0.79	-	0.25	-	-	0.14	-	0.14
		第10週	5.73	0.08	2.67	9.13	0.17	-	0.29	0.29	-	0.08	0.25	-	0.38	-	-	-	-	0.29
		第11週	3.32	0.04	2.38	6.04	0.25	-	0.33	0.25	-	0.13	0.50	-	1.13	-	-	-	-	0.29
		第12週	2.92	0.22	2.09	6.22	0.09	0.04	0.30	0.48	-	0.17	0.78	-	0.25	-	-	-	-	0.14
	全国	第10週	4.12	0.32	2.86	6.07	0.33	0.14	0.54	0.36	0.02	0.11	0.46	0.01	0.44	0.02	0.02	0.14	-	0.28
		第11週	2.92	0.37	2.87	6.04	0.32	0.16	0.58	0.39	0.03	0.10	0.49	-	0.49	0.02	0.03	0.14	0.01	0.40

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

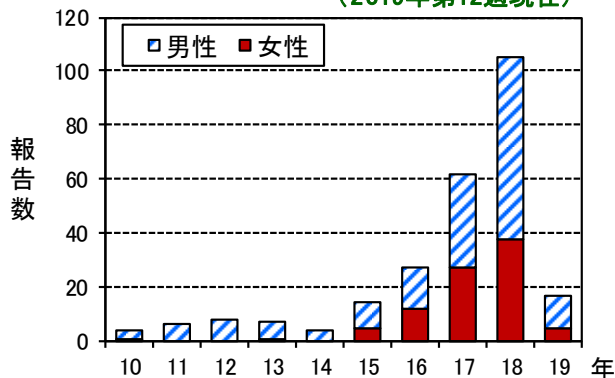
診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(37.0) 咽頭炎 頭痛 関節痛	45	男	2019/02/12	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0) 咽頭炎 鼻炎	6	男	2019/02/12	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.0) 鼻炎	1	女	2019/02/13	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	発熱(40.6) 血便 下痢 腹痛	4	女	2019/02/13	糞便	<i>Campylobacter jejuni</i>
その他の呼吸器疾患	発熱(39.2) 気管支炎 嘔気	7	男	2019/02/16	鼻汁	ヒトコロナウイルスNL63

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における梅毒検査について

梅毒の年間報告数の推移

(2019年第12週現在)



近年、全国的に梅毒の報告数が増加しています。広島市においては、2015年以降、報告数が増加しており、2018年は105件と過去最多となりました。

検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。梅毒に感染したおそれのある方は、早期に医療機関を受診しましょう。

広島市では、各区の保健センターで、無料の梅毒検査を行っています。検査は予約制です。あらかじめ検査を希望される保健センターに電話で予約してください。

* 検査の予約、実施場所、日時、検査内容等についての詳細は、広島市ホームページからご確認ください。
・梅毒検査について(健康推進課)

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1519965289997/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第12週(3月18日～3月24日)